

青梅市の公の施設指定管理者評価シート

令和6 年度実施分

施設名	第2こどもクラブ、千ヶ瀬こどもクラブ、友田こどもクラブ、第4こどもクラブ、第7こどもクラブ、成木こどもクラブ		
指定管理者名	社会福祉法人 青梅市社会福祉協議会		
指定管理期間	令和6年4月1日～令和7年3月31日	担当課	子育て応援課
設置目的	小学校に在籍する児童で、放課後家庭において保護者の適切な監護が受けられない子どもの健全な育成を図るため。		

評価ランク	評価内容
S	協定等を遵守し、仕様よりも優れた管理であった。
A	協定等を遵守し、仕様に沿った管理であった。
B	協定等を遵守し、おおむね仕様に沿った管理であったが、一部に課題があった。
C	協定等を遵守できず、仕様に沿った管理ができなかった。

評価項目	評価内容	評価方法	指定管理者評価	評価理由	市評価	評価理由
管理状況	適性な管理の履行	事業報告書・月次報告書	S	新型コロナウイルス対策としての消毒、衛生管理を維持し、室内トイレなどを清潔に保つことができた。各クラス、正規指導員を担任として配置することにより平常通りの人員配置をもって行うことができた。	S	適切に業務が履行されており、保育指導について定められた人員配置が行われている。
	事業報告	事業報告書・月次報告書	A	適切に実施した。	A	定められた期限に確実に報告されている。また期限前に提出することを常態としている。
	安全性の確保	事業報告書・現地調査・危機管理マニュアル	A	市、学校と連携し利用者にとってより安全な場を提供することができた。小破修繕については、迅速に対応した。	A	利用者である児童に対し、注意喚起を行うなど安全性の確保に努めている。
	法令等の遵守	事業報告書・月次報告書	A	青梅市社会福祉協議会の個人情報保護規定に基づき、整理保管等を適正に行った。	A	定められた法令等を遵守し、適切な執行に努めている。
	業務記録	事業報告書・月次報告書	A	適正な作成および保管に務めた。	A	業務の記録を作成し、整理、保管されている。
	緊急時対応	災害時等の緊急時の体制は整っているか。	A	青梅市社会福祉協議会の緊急時体制に基づき体制を整備している。	A	緊急時の連絡体制や危機管理体制を整えている。
		災害時等の緊急時の対応研修、訓練等は行っているか。	S	地震、火災の避難訓練に加え、不審者対応訓練や食物アレルギー児の緊急対応研修を実施し、緊急時の対応力向上に務めた。	A	適時訓練を実施し、緊急時の対応確認を行なっている。
	適切な財務・財産管理	事業報告書	A	適正な管理に務めた。	A	適切に管理している。
事業効果等	事業の取組	事業報告書	S	地域団体による折り紙教室・マジック体験・ボッチャ教室等を実施し、児童の活動範囲を広めることができた。	A	事業計画に沿った適切な保育が実施されている。
	利用の状況	事業報告書・月次報告書	A	適切な利用状況となっている。	A	事業計画に沿った適切な保育が実施されており、計画どおりの利用状況となっている。
	利用者意見の収集	利用者アンケート等を年1回以上実施し、利用者意見の収集をおこなっているか	A	保護者、児童それぞれにアンケートを実施し、意見要望を収集した。	A	利用者アンケートを実施し、利用者の意見収集が行われている。
		利用者の満足度を得られているか ・職員の接客対応、利用条件等は適切か	S	アンケートの結果、指導員は保護者の考え話しを聞く姿勢を持っているか。の問いに89%満足と高い評価を得ている	A	利用者アンケートを実施し、良い評価が得られている。
	利用者意見に対する対応	現地調査・ヒアリング	A	全指導員で内容を共有し、改善に向けて話し合い実施している。	A	利用者アンケート等の意見に対し、必要な改善を図っている。
	行政目的の達成	事業報告書・ヒアリング	S	市及び学校、タヤけランドとの連携を密にし、情報の共有、提供も行いながら行政目的の達成により貢献することができた。	A	担当課と密に連携し、適切に運営していた。また学校等の関係機関と情報共有を行い、連携を図っている。
	その他提案内容等	事業報告書・ヒアリング	S	地域団体との交流など、社会福祉協議会の運営する学童保育特有の事業を実施することができた。	A	提案どおりに実施している。
会計	処理	事業報告書	A	適切に実施した。	A	適正に整備し、管理されている。
	管理	事業報告書	A	適切に実施した。	A	適正に管理されている。
収支状況	施設の収支決算状況	令和6年度法人全体計算書類(抜粋)	A	赤字になっているが法人として適切に運営している。	B	赤字になってはいるが、法人として適切に運営されている。
		令和6年度法人全体計算書類(抜粋)	A	法人として適切に運営している。(−3.32%)	B	赤字になってはいるが、法人として適切に運営されている。
	指定管理者の収支決算状況	令和6年度法人全体計算書類(抜粋)	S	法人として適切に運営している。(71.3%)	S	法人として適切に運営されている。
		令和6年度法人全体計算書類(抜粋)	S	法人として適切に運営している。(399.8%)	S	法人として適切に運営されている。

1 指定管理者自己評価における評価理由、意見等

評点	数
S	8
A	13
B	0
C	0

記入欄

- ・児童を対象とした地震、火災、不審者の侵入、災害などの避難訓練の実施に加え、指導員を対象とした学童保育中の子どものけが等の対応についての研修を実施し、より安全安心な学童保育の運営に務めた。
- ・行事等の実施については、地域の自治会の運営するボッチャ練習会、市内団体によるマジックショー、折り紙教室等の交流事業の実施を通して社会福祉協議会ならではの学童保育運営を進めることができた。
- ・毎年実施しているアンケート結果をふまえ、改善に向けて対応に務めた。また、保護者様からのご意見等に積極的に対応し、信頼づくりに務めた。

2 市の評価、意見等

評点	数
S	3
A	16
B	2
C	0

記入欄

- ・協定や事業計画に沿って、事業の実施・管理運営を行なった。長年培ってきた経験があるため、問題なく安定した事業運営を行なった。
- ・学校や関係機関と定期的に情報共有を行ない、また担当課とも連絡を密にとりながら学童保育所の運営を行なった。
- ・社会福祉協議会の強みを生かし、地域と交流しながら地域に根付いた学童運営を行なった。
- ・児童や保護者と円滑なコミュニケーションをとっており、そのことが利用者の高い満足度につながっている。
- ・定期的を実施している全事業者による定例会議において、長年培った経験を生かし、現場での課題を各事業者と共有することで、青梅市内の各学童クラブの質の向上につなげている。